

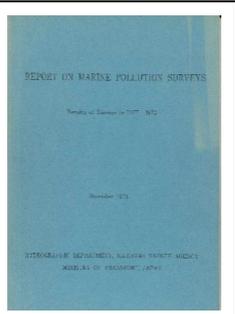
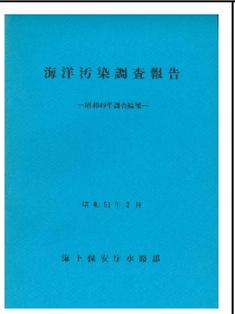
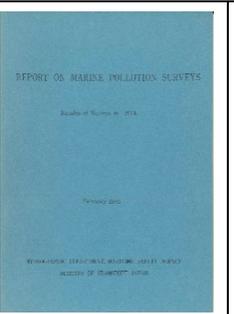
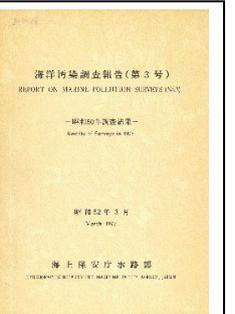
付 録

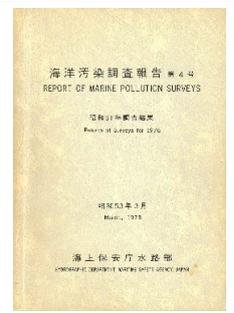
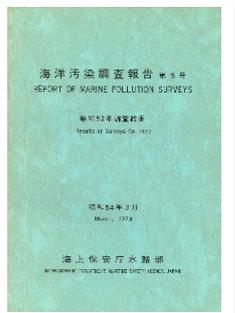
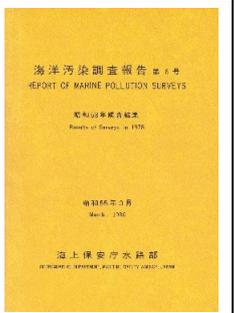
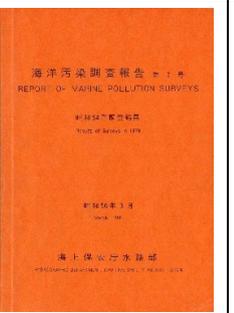
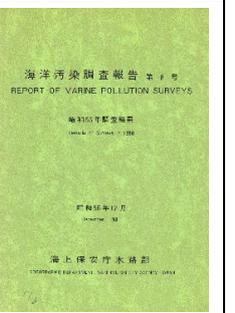
海洋汚染調査報告第 50 号までの歩み

内 容

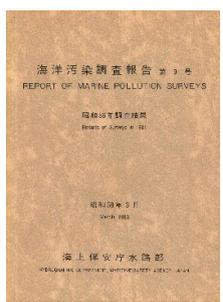
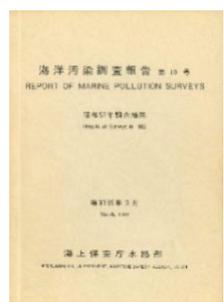
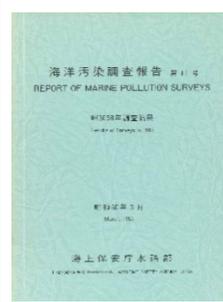
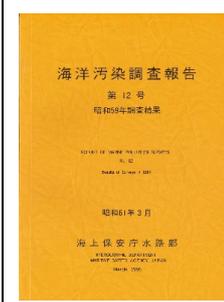
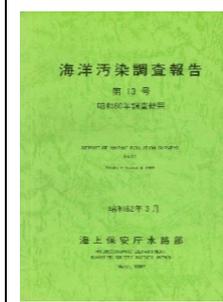
- ・海洋汚染調査報告第 1 号から第 50 号までの表紙一覧
- ・海洋汚染調査報告の各号に掲載している調査一覧
- ・海洋汚染調査報告に掲載された口絵の題名一覧

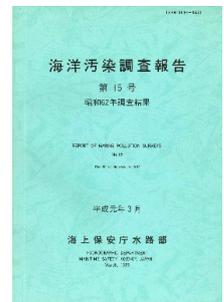
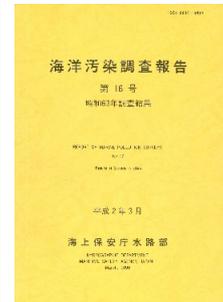
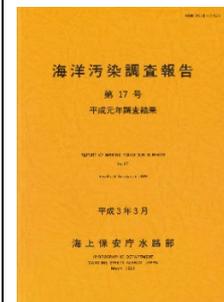
海洋汚染調査報告第1号から第8号の表紙一覧

				
第1号/日本語版	第1号/英語版	第2号/日本語版	第2号/英語版	第3号/日英版
昭和47-48(1972-1973)年調査結果	昭和47-48(1972-1973)年調査結果	昭和49(1974)年調査結果	昭和49(1974)年調査結果	昭和50(1975)年調査結果
昭和50(1975)年1月発行	昭和50(1975)年1月発行	昭和51(1976)年2月発行	昭和51(1976)年2月発行	昭和52(1977)年3月発行
備考:表紙記載の発行年は訂正されている。 B5判	備考:画像では表紙記載の発行年月が未訂正状態。 B5判	備考:B5判	備考:B5判	備考:日本語ページと英語ページに分かれて記述。 B5判

				
第4号	第5号	第6号	第7号	第8号
昭和51(1976)年調査結果	昭和52(1977)年調査結果	昭和53(1978)年調査結果	昭和54(1979)年調査結果	昭和55(1980)年調査結果
昭和53(1978)年3月発行	昭和54(1979)年3月発行	昭和55(1980)年3月発行	昭和56(1981)年3月発行	昭和56(1981)年12月発行
備考:本号より日本語版のみ発行。英語は補助的使用に限定。 B5判。	備考:英語は補助的使用に限定。 B5判。	備考:英語は補助的使用に限定。 B5判。	備考:英語は補助的使用に限定。 B5判。	備考:英語は補助的使用に限定。 B5判。

海洋汚染調査報告第9号から第18号の表紙一覧

				
第9号	第10号	第11号	第12号	第13号
昭和56(1981)年 調査結果	昭和57(1982)年 調査結果	昭和58(1983)年 調査結果	昭和59(1984)年 調査結果	昭和60(1985)年 調査結果
昭和58(1983)年 3月発行	昭和59(1984)年 3月発行	昭和60(1985)年 3月発行	昭和61(1986)年 3月発行	昭和62(1987)年 3月発行
備考:英語は補助 的使用に限定。 B5判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 B5判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 B5判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 B5判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 B5判。

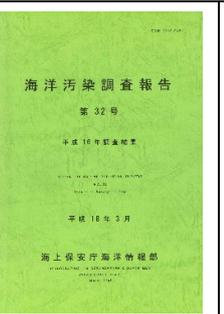
				
第14号	第15号	第16号	第17号	第18号
昭和61(1986)年 調査結果	昭和62(1987)年 調査結果	昭和63(1988)年 調査結果	平成元(1989)年 調査結果	平成2(1990)年 調査結果
昭和63(1988)年 2月発行	平成元(1989)年 3月発行	平成2(1990)年 3月発行	平成3(1991)年 3月発行	平成4(1992)年 3月発行
備考:英語は補助 的使用に限定。 B5判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 B5判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 B5判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 B5判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 B5判。

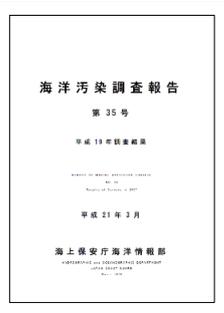
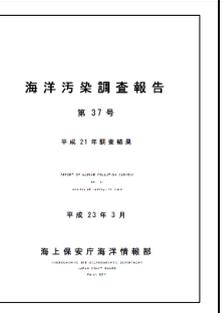
海洋汚染調査報告第 19 号から第 28 号の表紙一覧

				
第 19 号	第 20 号	第 21 号	第 22 号	第 23 号
平成 3(1991)年 調査結果	平成 4(1992)年 調査結果	平成 5(1993)年 調査結果	平成 6(1994)年 調査結果	平成 7(1995)年 調査結果
平成 5(1993)年 3 月発行	平成 6(1994)年 3 月発行	平成 7(1995)年 3 月発行	平成 8(1996)年 3 月発行	平成 9(1997)年 3 月発行
備考:英語は補助 的使用に限定。 B5 判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 A4 判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 A4 判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 A4 判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 A4 判。

				
第 24 号	第 25 号	第 26 号	第 27 号	第 28 号
平成 8(1996)年 調査結果、その他※	平成 9(1997)年 調査結果	平成 10(1998)年 調査結果	平成 11(1999)年 調査結果	平成 12(2000)年 調査結果
平成 10(1998)年 3 月発行	平成 11(1999)年 3 月発行	平成 12(2000)年 3 月発行	平成 13(2001)年 3 月発行	平成 14(2002)年 3 月発行
備考: ※ナホトカ号油分 調査結果、ダイヤモ ンドグレース号油分 調査結果。 英語は補助的使用 に限定。 A4 判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 A4 判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 A4 判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 A4 判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 A4 判。

海洋汚染調査報告第 29 号から第 38 号の表紙一覧

				
第 29 号	第 30 号	第 31 号	第 32 号	第 33 号
平成 13(2001)年 調査結果	平成 14(2002)年 調査結果	平成 15(2003)年 調査結果	平成 16(2004)年 調査結果	平成 17(2005)年 調査結果
平成 15(2003)年 3 月発行	平成 16(2004)年 3 月発行	平成 17(2005)年 3 月発行	平成 18(2006)年 3 月発行	平成 19(2007)年 3 月発行
備考:英語は補助 的使用に限定。 A4 判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 A4 判。	備考:英語は補助 的使用に限定。 A4 判。	備考:英語は補助 的使用に限定。最 後の印刷物。 A4 判。	備考:英語は補助 的使用に限定。今 号以降は PDF ファ イルのみで発行。

				
第 34 号	第 35 号	第 36 号	第 37 号	第 38 号
平成 18(2006)年 調査結果	平成 19(2007)年 調査結果	平成 20(2008)年 調査結果	平成 21(2009)年 調査結果	平成 22(2010)年 調査結果
平成 20(2008)年 3 月発行	平成 21(2009)年 3 月発行	平成 22(2010)年 3 月発行	平成 23(2011)年 3 月発行	平成 24(2012)年 3 月発行
備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。	備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。	備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。	備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。	備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。

海洋汚染調査報告第 39 号から第 48 号の表紙一覧

				
第 39 号	第 40 号	第 41 号	第 42 号	第 43 号
平成 23(2011)年 調査結果	平成 24(2012)年 調査結果	平成 25(2013)年 調査結果	平成 26(2014)年 調査結果	平成 27(2015)年 調査結果
平成 25(2013)年 3 月発行	平成 26(2014)年 3 月発行	平成 27(2015)年 3 月発行	平成 28(2016)年 3 月発行	平成 29(2017)年 3 月発行
備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。	備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。	備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。	備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。	備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。

				
第 44 号	第 45 号	第 46 号	第 47 号	第 48 号
平成 28(2016)年 調査結果	平成 29(2017)年 調査結果	平成 30(2018)年 調査結果	令和元(2019)年 調査結果	令和 2(2020)年 調査結果
平成 30(2018)年 7 月発行	平成 31(2019)年 4 月発行	令和 2(2020)年 3 月発行	令和 3(2021)年 4 月発行	令和 4(2022)年 4 月発行
備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。	備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。	備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。	備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。	備考:英語は補助 的使用に限定。 PDF ファイルのみ で発行。

海洋汚染調査報告第 49 号から第 50 号の表紙一覧

		<p>■バックナンバーの公開 現在、海洋汚染調査報告第 27 号(平成 11(1999)年調査結果)以降については、次のサイトで PDF 版を公開しています。</p> <p>https://www1.kaiho.mlit.go.jp/osen/osen.html</p>
<p>第 49 号</p>	<p>第 50 号</p>	<p>■バックナンバーの閲覧</p>
<p>令和 3(2021)年 調査結果</p>	<p>令和 4(2022)年 調査結果</p>	<p>これまでに発行された冊子体(紙)の海洋汚染調査報告は、国立国会図書館で閲覧等を行うことができます。詳細については、国立国会図書館のサイトをご覧ください。</p>
<p>令和 5(2023)年 6 月発行</p>	<p>令和 6(2024)年 6 月発行</p>	<p>https://www.ndl.go.jp</p>
<p>備考:英語は補助的使用に限定。PDF ファイルのみで発行。</p>	<p>備考:英語は補助的使用に限定。PDF ファイルのみで発行。</p>	

海洋汚染調査報告の各号に掲載している調査一覧(その1)

号数	調査年		日本周辺海域の調査 (表面採水)	西太平洋海域共同調査 (表面・200m層採水)	オホーツク海域の調査 (表面採水・表層採泥)	東シナ海域の調査 (表面採水・表層採泥)
	西暦	和暦				
1号	1972年	昭和47年	○ ^{※1}			
	1973年	昭和48年	○ ^{※1}			
2号	1974年	昭和49年	○ ^{※1}			
3号	1975年	昭和50年	○			
4号	1976年	昭和51年	○ ^{※1}			
5号	1977年	昭和52年	○ ^{※1}			
6号	1978年	昭和53年	○ ^{※1}			
7号	1979年	昭和54年	○ ^{※1}			
8号	1980年	昭和55年	○ ^{※1}			
9号	1981年	昭和56年	○ ^{※1}			
10号	1982年	昭和57年	○ ^{※1}			
11号	1983年	昭和58年	○ ^{※1}			
12号	1984年	昭和59年	○ ^{※1}	(1984年開始)		
13号	1985年	昭和60年	○ ^{※1,※2}	※4 1984年調査分含む		
14号	1986年	昭和61年	○ ^{※1,※2}	※4		
15号	1987年	昭和62年	○ ^{※1,※2}	※4	※6	※8(E3)
16号	1988年	昭和63年	○ ^{※1,※2}	※4	※6	
17号	1989年	平成元年	○ ^{※1,※2}	※4	※6	
18号	1990年	平成2年	○ ^{※1,※2}	※4	※6	※8(E2)
19号	1991年	平成3年	○ ^{※1,※2}	※5		
20号	1992年	平成4年	○ ^{※1,※2}	※4		※8(E3)
21号	1993年	平成5年	○ ^{※1,※2}	※4		
22号	1994年	平成6年	○ ^{※1,※2}	※4		
23号	1995年	平成7年	○ ^{※1,※2}	※4		※8(E3,E4)
24号	1996年	平成8年	○ ^{※1,※2}	※4		
25号	1997年	平成9年	○ ^{※1,※2}			
26号	1998年	平成10年	※3	○ 1997年調査分含む	(1998年開始)	
27号	1999年	平成11年	○	○	○ 1998年調査分含む	※8(E4)
28号	2000年	平成12年	※3	○	○	
29号	2001年	平成13年	○	○	○	※8(E4)
30号	2002年	平成14年	※3	○	○	

号数	調査年		日本周辺海域の調査 (表面採水)	西太平洋海域共同調査 (表面・200m層採水)	オホーツク海域の調査 (表面採水・表層採泥)	東シナ海域の調査 (表面採水・表層採泥)
	西暦	和暦				
31号	2003年	平成15年	○	○	○	※8(E4)
32号	2004年	平成16年	(2003年終了)	○	○	
33号	2005年	平成17年		○ 表面採水のみ	○	
34号	2006年	平成18年		○ 表面採水のみ	○	
35号	2007年	平成19年		○ 表面採水のみ	○	
36号	2008年	平成20年		○ 表面採水のみ	○	
37号	2009年	平成21年		(2008年終了)	○	
38号	2010年	平成22年			○	
39号	2011年	平成23年			○	
40号	2012年	平成24年			○	
41号	2013年	平成25年			○	(2014年開始)
42号	2014年	平成26年			※5	○
43号	2015年	平成27年			○	○
44号	2016年	平成28年			○	○
45号	2017年	平成29年			※7	○
46号	2018年	平成30年			○	○
47号	2019年	令和元年			※5	○
48号	2020年	令和2年			※5	(2019年終了)
49号	2021年	令和3年			○	
50号	2022年	令和4年			○	

※1: 一部の測点では年2回の表面採水あり

※2: 前期(1～6月)と後期(7～12月)に分けて調査結果がとりまとめられるようになった

※3: 平成9年以降は隔年調査としたため偶数年は調査がなかった

※4: 1984年から西太平洋海域の海洋汚染調査を開始(1991年は調査がなかった)

1984年から1996年までの調査結果は「水路部観測報告:西太平洋海域共同調査編」(1号～12号)に掲載

「水路部観測報告:西太平洋海域共同調査編」については、海洋情報部ホームページにある「海図・海洋データ問い合わせ窓口」< https://www1.kaiho.mlit.go.jp/joint/form_mail/form_mail.cgi > からお問い合わせ下さい
なお、水路部観測報告は、国立国会図書館で閲覧可能

※5: 調査がなかった

※6: オホーツク海域の調査の定点付近で日本周辺海域の調査として表面採水実施あり

※7: 調査行動中に測量船の修理対応があり調査を実施できなかった

※8: 東シナ海域の調査の定点付近で日本周辺海域の調査として表面採水実施あり

◎ 海洋汚染調査報告第1～29号の経緯度は日本測地系で、30号以降の経緯度は世界測地系(WGS-84)で掲載されています

海洋汚染調査報告の各号に掲載している調査一覧(その2)

号数	調査年		主要湾域の調査(採水・採泥)	
	西暦	和暦	定点調査	重点調査 ^{※3}
1号	1972年	昭和47年	○	東京湾:表面採水、表層採泥(予備調査)
	1973年	昭和48年	○	東京湾:各層採水、表層採泥
2号	1974年	昭和49年	○	
3号	1975年	昭和50年	○	
4号	1976年	昭和51年	○	伊勢湾:表面採水、表層採泥
5号	1977年	昭和52年	○	大阪湾:表面採水、表層採泥
6号	1978年	昭和53年	○ ^{※1}	東京湾:表面採水、各層採水(水銀、塩分及びDO) 表層採泥、重金属調査用に柱状採泥を実施 ^{※4}
7号	1979年	昭和54年	○ ^{※1}	
8号	1980年	昭和55年	○ ^{※1,※2}	伊勢湾:各層採水、表層採泥、重金属調査用に柱状採泥を実施 ^{※4} 富山湾:表面採水、表層採泥
				周辺海域:能登半島沖調査:表面海水のカドミウム(2測点で各層採水実施) 三陸沖調査:表面海水の水銀
9号	1981年	昭和56年	○ ^{※1}	石巻湾:表面採水 大阪湾・紀伊水道:各層採水、表層採泥、重金属調査用に柱状採泥を実施 駿河湾:表層採泥、重金属調査用に柱状採泥を実施
10号	1982年	昭和57年	○ ^{※2}	瀬戸内海、響灘、鹿児島湾:重金属調査用に柱状採泥を実施
11号	1983年	昭和58年	○ ^{※1}	紀伊水道、豊後水道:各層採水実施
12号	1984年	昭和59年	○ ^{※2}	豊後水道:各層採水、表層採泥
13号	1985年	昭和60年	○	
14号	1986年	昭和61年	○	
15号	1987年	昭和62年	○	伊勢湾:表層採水、表層採泥、重金属調査用に柱状採泥6点実施 ^{※4}
16号	1988年	昭和63年	○	大阪湾:各層採水、表層採泥 東京湾:2測点で各層採水実施
17号	1989年	平成元年	○	東京湾:各層採水、表層採泥
18号	1990年	平成2年	○	
19号	1991年	平成3年	○	
20号	1992年	平成4年	○	
21号	1993年	平成5年	○	
22号	1994年	平成6年	○	
23号	1995年	平成7年	○	大阪湾:表面採水、表層採泥
24号	1996年	平成8年	○ ^{※1}	
25号	1997年	平成9年	○ ^{※1}	
26号	1998年	平成10年	○	響灘:表面採水、表層採泥
27号	1999年	平成11年	○ ^{※2}	内浦湾:各層採水、表層採泥
28号	2000年	平成12年	○	
29号	2001年	平成13年	○	伊勢湾:表面採水、表層採泥 富山湾:表面採水
30号	2002年	平成14年	○	

号数	調査年		主要湾域の調査(採水・採泥)	
	西暦	和暦	定点調査	重点調査 ^{※3}
31号	2003年	平成15年	○	内浦湾:各層採水、表層採泥
32号	2004年	平成16年	○ ^{※1,※5}	
33号	2005年	平成17年	○ ^{※6}	
34号	2006年	平成18年	○	
35号	2007年	平成19年	○	
36号	2008年	平成20年	○	
37号	2009年	平成21年	○	
38号	2010年	平成22年	○	
39号	2011年	平成23年	○ ^{※1}	
40号	2012年	平成24年	○ ^{※1}	
41号	2013年	平成25年	○ ^{※1}	
42号	2014年	平成26年	○	
43号	2015年	平成27年	○	
44号	2016年	平成28年	○	
45号	2017年	平成29年	○	
46号	2018年	平成30年	○	
47号	2019年	令和元年	○ ^{※1}	
48号	2020年	令和2年	○ ^{※1,※7}	
49号	2021年	令和3年	○ ^{※1}	
50号	2022年	令和4年	○	

※1: 一部の湾で調査を実施していない

※2: 一部の湾で年2回実施あり

※3: 通常よりも詳細に調べるために定点調査(表面採水と表層採泥)よりも測点数及び調査項目を増強して実施した調査

※4: 所定層の分析結果を鉛直分布図として掲載している

※5: 平成13年から新たに開始したTBT調査について平成16年までに得られた調査結果から各湾域の傾向をまとめている
平成13年から平成15年のTBTの調査結果についてTBTO換算濃度の計算に使用した換算値に誤りがあったため正しい換算値による計算結果を再掲している

※6: 平成17年(2005年)の定点調査から湾外(外洋域)の定点の新設を行った

※7: 令和2年(2020年)の定点調査から全湾域における測点見直しにより、従来からの定点の一部削減を行った

◎ 調査対象主要湾域の変遷

1、2号 東京湾、伊勢湾、大阪湾、石巻湾

3号 石巻湾、東京湾、伊勢湾、大阪湾、瀬戸内海

4号 東京湾、駿河湾、伊勢湾、大阪湾、紀伊水道、瀬戸内海、響灘、豊後水道、鹿児島湾

5～18号 内浦湾、石巻湾、東京湾、駿河湾、伊勢湾、大阪湾、紀伊水道、瀬戸内海、響灘、豊後水道、
鹿児島湾、若狭湾、富山湾

19号～ 内浦湾、仙台湾、東京湾、駿河湾、伊勢湾、大阪湾、紀伊水道、瀬戸内海、響灘、豊後水道、
鹿児島湾、若狭湾、富山湾

◎ 海図等に仙台湾の名称を記載することが平成4年3月に決定したことから平成5年発行の海洋汚染調査報告第19号から湾域名を石巻湾から仙台湾に変更した(測点の位置に変更はない)

◎ 平成18年(2006年)の調査から瀬戸内海では表面採水のみとなり、34号からその旨が反映されている

◎ 海洋汚染調査報告第1～29号の経緯度は日本測地系で、30号以降の経緯度は世界測地系(WGS-84)で掲載されています

海洋汚染調査報告の各号に掲載している調査一覧(その3)

号数	調査年		廃棄物排出海域の調査(採水)																							
			A1※1				A2※1				A3※1				A4※1				A5※1							
	西暦	和暦	表層	中層	底層	B※2	表層	中層	底層	B※2	表層	中層	底層	B※2	表層	中層	底層	B※2	表層	中層	底層	B※2				
1号	1972年	昭和47年	(1973年開始)																							
	1973年	昭和48年	-	-	○	底層	-	-	○	底層	○	-	○	表層	○	-	○	表層	○	-	○	表層	-	-	-	-
2号	1974年	昭和49年	○	-	○	底層	○	-	○	底層	○	-	○	底層	○	-	○	底層	○	-	○	底層	○	-	○	-
3号	1975年	昭和50年	○	-	○	表層	○	-	-	表層	-	-	-	-	○	-	-	表層	○	-	-	表層	○	-	○	-
4号	1976年	昭和51年	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	表層	○	-	○	表層	○	-	○	表層	-	-	-	-
5号	1977年	昭和52年	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
6号	1978年	昭和53年	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7号	1979年	昭和54年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-
8号	1980年	昭和55年	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9号	1981年	昭和56年	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
10号	1982年	昭和57年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
11号	1983年	昭和58年	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12号	1984年	昭和59年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	底層	-	-	○	-
13号	1985年	昭和60年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	底層	-	-	-	-	-	-	○	底層	-	-	-	-
14号	1986年	昭和61年	-	-	○	底層	-	-	-	-	-	-	○	底層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15号	1987年	昭和62年	-	-	-	-	○	○	○	表層	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-
16号	1988年	昭和63年	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	表層	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-
17号	1989年	平成元年	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	表層	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18号	1990年	平成2年	○	○	○	表層	-	-	-	-	○	-	○	表層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19号	1991年	平成3年	-	-	-	-	○	○	○	底層	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	表層	-	-	-	-
20号	1992年	平成4年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-
21号	1993年	平成5年	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22号	1994年	平成6年	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23号	1995年	平成7年	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-
24号	1996年	平成8年	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25号	1997年	平成9年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26号	1998年	平成10年	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27号	1999年	平成11年	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28号	2000年	平成12年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29号	2001年	平成13年	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30号	2002年	平成14年	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

号数	調査年		廃棄物排出海域の調査(採水)																							
			A1※1				A2※1				A3※1				A4※1				A5※1							
	西暦	和暦	表層	中層	底層	B※2	表層	中層	底層	B※2	表層	中層	底層	B※2	表層	中層	底層	B※2	表層	中層	底層	B※2				
31号	2003年	平成15年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-
32号	2004年	平成16年	※3				※3				※3				※3				※3							
33号	2005年	平成17年	※3				※3				※3				※3				※3							
34号	2006年	平成18年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35号	2007年	平成19年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36号	2008年	平成20年	(2007年終了)																							
37号	2009年	平成21年																								
38号	2010年	平成22年																								
39号	2011年	平成23年																								
40号	2012年	平成24年																								
41号	2013年	平成25年																								
42号	2014年	平成26年																								
43号	2015年	平成27年																								
44号	2016年	平成28年																								
45号	2017年	平成29年																								
46号	2018年	平成30年																								
47号	2019年	令和元年																								
48号	2020年	令和2年																								
49号	2021年	令和3年																								
50号	2022年	令和4年																								

※1: 当時の海洋汚染防止法施行令第7条別表第2、または、海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第7条別表第3に定められたA海域

※2: 当時の海洋汚染防止法施行令第7条別表第2、または、海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第7条別表第3に定められたB海域

※3: 廃棄物排出海域の調査がなかった

◎ 表中記載の底層とは底上3層(底上10m, 底上50m, 底上100m)、中層とは表層と底層の間の層の意味

◎ 表中記載の「-」とは調査対象外の意味

◎ 海洋汚染調査報告では、各A海域に次の記号と名称を付けて取り扱っています

1～6号 A1、A2、A3、A4、A5

7～11号 A1: 津軽沖廃棄物排出海域、A2: 三陸沖廃棄物排出海域、A3: 房総沖廃棄物排出海域

A4: 四国沖廃棄物排出海域、A5: 沖縄沖廃棄物排出海域

12～13号 A1: 津軽沖廃棄物排出海域、A2: 三陸沖廃棄物排出海域、A3: 房総沖廃棄物排出海域

A4: 四国沖廃棄物排出海域、A5: 沖縄沖廃棄物排出海域

14号～ A1: 日本海北部廃棄物排出海域、A2: 三陸沖廃棄物排出海域、A3: 房総沖廃棄物排出海域

A4: 四国沖廃棄物排出海域、A5: 沖縄沖廃棄物排出海域

◎ 海洋汚染調査報告第1～29号の経緯度は日本測地系で、30号以降の経緯度は世界測地系(WGS-84)で掲載されています

海洋汚染調査報告の各号に掲載している調査一覧(その4)

号数	調査年		廃棄物排出海域の調査										
			採 泥										深海流調査
	西暦	和暦	A1※1	B※2	A2※1	B※2	A3※1	B※2	A4※1	B※2	A5※1	B※2	
1号	1972年	昭和47年	(1973年開始)										
	1973年	昭和48年	柱状	表層	柱状	表層	柱状	表層	表層	表層	柱状	—	◎A5の柱状試料分析結果は2号に掲載
2号	1974年	昭和49年	表層	柱状	柱状	柱状	—	表層	表層	表層	表層	—	
3号	1975年	昭和50年	表層	表層	表層	表層	—	—	表層	表層	柱状	—	
4号	1976年	昭和51年	—	—	—	—	—	表層	表層	表層	—	—	(1975年開始)
5号	1977年	昭和52年	表層	—	表層	—	柱状	—	表層	—	—	—	A2:底上80m,1975.7.25~8.6観測 A4:底上50m,1976.9.29~10.13観測
6号	1978年	昭和53年	—	—	—	—	柱状	—	表層	—	—	—	A3:底上50m,底上100m,1978.9.20~11.4観測
7号	1979年	昭和54年	—	—	—	—	—	—	表層	—	柱状	—	A5:底上50m,1979.4.27~7.6観測
8号	1980年	昭和55年	表層	—	—	—	柱状	—	—	—	—	—	A1:底上50m,底上100m,1980.8.6~11.11観測
9号	1981年	昭和56年	—	—	表層	—	—	—	表層	—	—	—	※3
10号	1982年	昭和57年	—	—	—	—	表層	—	表層	—	—	—	A4:底上50m,底上100m,1982.8.31~11.20観測
11号	1983年	昭和58年	—	—	表層	—	表層	—	—	—	—	—	A3:底上50m,底上100m,1983.10.3~84.4.13観測
12号	1984年	昭和59年	—	—	—	—	—	—	表層	—	表層	—	※3
13号	1985年	昭和60年	—	—	—	—	表層	表層	表層	表層	—	—	A4:底上50,底上100m,1985.4.20~9.13観測
14号	1986年	昭和61年	表層	表層	—	—	表層	表層	—	—	—	—	※3
15号	1987年	昭和62年	—	—	表層	表層	—	—	表層	表層	—	—	A4:底上50m,底上100m,1987.4.29~8.5観測
16号	1988年	昭和63年	—	—	—	—	表層	—	—	—	表層	—	A3:底上50m,底上100m,1988.5.10~8.25観測
17号	1989年	平成元年	—	—	—	—	表層	表層	表層	表層	—	—	A4:底上50m,底上100m,1989.5.30~6.29観測
18号	1990年	平成2年	表層	表層	—	—	表層	表層	—	—	—	—	※3
19号	1991年	平成3年	—	—	表層	—	—	—	表層	表層	—	—	A2:底上50m,底上100m,1991.4.13~8.2観測
20号	1992年	平成4年	—	—	—	—	表層	—	—	—	表層	—	(1991年終了)
21号	1993年	平成5年	表層	—	—	—	表層	—	—	—	—	—	
22号	1994年	平成6年	表層	—	—	—	表層	—	表層	—	—	—	
23号	1995年	平成7年	—	—	表層	—	—	—	表層	—	表層	—	
24号	1996年	平成8年	表層	—	表層	—	表層	—	—	—	—	—	
25号	1997年	平成9年	—	—	—	—	—	—	表層	—	—	—	
26号	1998年	平成10年	—	—	—	—	表層	—	—	—	—	—	
27号	1999年	平成11年	—	—	表層	—	—	—	—	—	—	—	
28号	2000年	平成12年	—	—	—	—	—	—	表層	—	—	—	
29号	2001年	平成13年	—	—	—	—	表層	—	—	—	—	—	
30号	2002年	平成14年	—	—	表層	—	—	—	—	—	—	—	

号数	調査年		廃棄物排出海域の調査										深海流調査
			採 泥										
	西暦	和暦	A1 ^{※1}	B ^{※2}	A2 ^{※1}	B ^{※2}	A3 ^{※1}	B ^{※2}	A4 ^{※1}	B ^{※2}	A5 ^{※1}	B ^{※2}	
31号	2003年	平成15年	-	-	-	-	-	-	-	-	表層	-	
32号	2004年	平成16年	※3		※3		※3		※3		※3		
33号	2005年	平成17年	※3		※3		※3		※3		※3		
34号	2006年	平成18年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
35号	2007年	平成19年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
36号	2008年	平成20年	(2007年終了)										
37号	2009年	平成21年											
38号	2010年	平成22年											
39号	2011年	平成23年											
40号	2012年	平成24年											
41号	2013年	平成25年											
42号	2014年	平成26年											
43号	2015年	平成27年											
44号	2016年	平成28年											
45号	2017年	平成29年											
46号	2018年	平成30年											
47号	2019年	令和元年											
48号	2020年	令和2年											
49号	2021年	令和3年											
50号	2022年	令和4年											

※1: 当時の海洋汚染防止法施行令第7条別表第2、または、海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第7条別表第3に定められたA海域

※2: 当時の海洋汚染防止法施行令第7条別表第2、または、海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律施行令第7条別表第3に定められたB海域

※3: 廃棄物排出海域の調査がなかった

◎ 表中記載の「表層」は「表層採泥」、「柱状」は「柱状採泥」の意味

◎ 表中記載の「-」は調査対象外の意味

◎ 海洋汚染調査報告では、各A海域に次の記号と名称を付けて取り扱っています

1～6号 A1、A2、A3、A4、A5

7～11号 A1:津軽沖廃棄物排出海域、A2:三陸沖廃棄物排出海域、A3:房総沖廃棄物排出海域

A4:四国沖廃棄物排出海域、A5:沖縄南方廃棄物排出海域

12～13号 A1:津軽沖廃棄物排出海域、A2:三陸沖廃棄物排出海域、A3:房総沖廃棄物排出海域

A4:四国沖廃棄物排出海域、A5:沖縄沖廃棄物排出海域

14号～ A1:日本海北部廃棄物排出海域、A2:三陸沖廃棄物排出海域、A3:房総沖廃棄物排出海域

A4:四国沖廃棄物排出海域、A5:沖縄沖廃棄物排出海域

◎ 海洋汚染調査報告第1～29号の経緯度は日本測地系で、30号以降の経緯度は世界測地系(WGS-84)で掲載されています

海洋汚染調査報告の各号に掲載している調査一覧(その5)

号数	調査年		臨時調査
	西暦	和暦	
24号	1997年	平成9年	<ul style="list-style-type: none"> ・ナホトカ号油分調査 試料採取:各層採水(採取深度:0m、10m、50m、100m層) 調査時期:2/24~3/9, 9/23~9/26 の2回実施 ・ダイヤモンドグレース号油分調査 試料採取:表面採水・表層採泥 調査時期:7/28~7/30, 9/1~9/2 の2回実施
	※定点調査部分は1996年(平8年)調査		
30号	2002年	平成14年	<ul style="list-style-type: none"> ・東京湾POPs調査 試料採取:柱状採泥(5cm毎の各層分取) 鉛210法による年代測定を実施

海洋汚染調査報告に掲載された口絵の題名一覧

号数	写真枚数	掲載時の題名 〔50号を記念しての追加注釈〕
1～3号	なし	
4号	1枚	夜間の採水作業(測量船拓洋) 〔夜間に甲板上で大量採水器(離合社製)から海水分取を行っているところ。〕
5号	2枚	深海流速計の設置作業 〔深海流速計の回収用フロートの写真と深海流速計の写真。〕
6号	1枚	蛍光 X 線分析装置 〔蛍光 X 線分析装置 Geigerflex 3064(理学電機工業製)の写真。〕
7号	1枚	音響切離装置を利用した廃棄物排出海域の採泥作業 〔音響切離装置を連結したスミス・マッキンタイヤ採泥器(SM 採泥器)を投入しているところ。ピンガー(音響機器)を使う現在の深海採泥とは異なり、採泥器が底上付近に位置し安定した時に音響切離装置を作動させることで筒内のロープが繰り出され採泥器が着底し採泥する仕組み。〕
8号	1枚	本庁水路部海洋汚染実験室 〔築地庁舎 8F の海洋汚染実験室で、クデルナ・ダニッシュ濃縮器(KD 濃縮器)により有機溶媒を用いて抽出した汚染物質を濃縮しているところ。〕
9号	1枚	グラビティコアラーによる採泥作業 〔グラビティコアラー(柱状採泥器)を揚収しているところ。〕
10号	1枚	底上距離測定装置を使用した採水 〔採水器の蓋が開いているので、連結させた二連式バンドーン採水器、ピンガー(音響機器)及び切離装置を投入しているところ。〕
11号	1枚	深海流速計 VMCM630 型の揚収 〔プロペラ式(機械式)深海流速計 SEA-LINK VMCM630(EG&G 社製)を揚収しているところ。〕
12号	1枚	スミス・マッキンタイヤ型採泥器による採泥作業 〔測量船の左舷側でスミス・マッキンタイヤ採泥器を揚収しているところ。〕
13号	1枚	測量船「天洋」の後部ギャロスを使用しての採泥作業 〔印刷品質により写真不鮮明。採泥器のバケットが開いてセットされている状態なので測量船からスミス・マッキンタイヤ採泥器を投入しているところ。ギャロスに付けられた3つの定滑車が興味を引く。〕
14号	1枚	深海カメラ付きスミス・マッキンタイヤ型採泥器による採泥作業 〔採泥器の着底直前に深海カメラにぶら下げた錘が採泥器より先に海底に到達しロープが緩むことでカメラのシャッターが作動。撮影は1回のみ。〕
15号	1枚	海洋汚染調査に使用する測量船「昭洋」(総トン数 1900t、乗組員数 37 名) 〔現在の測量船「昭洋」(3000t)の先代の昭洋(いわゆる旧昭洋)。〕
16号	1枚	スミス・マッキンタイヤ型採泥器による採泥作業 〔測量船からスミス・マッキンタイヤ採泥器を投入しているところ。〕

海洋汚染調査報告に掲載された口絵の題名一覧

号数	写真枚数	掲載時の題名 〔50号を記念しての追加注釈〕
17号	1枚	ニスキン採水器による深層水の採取作業 〔採水器の蓋が閉まっているのでニスキン採水器を揚収しているところ。海水が満たされた状態のニスキン採水器は重いため取り外す時に落とさないようにワーキングロープを結着した後にワイヤーから取外し船内に取り込む。〕
18号	1枚	蛍光エックス線分析装置 〔築地庁舎8Fにあった海洋汚染調査室の事務室の隣部屋に設置された蛍光X線分析装置 System3270（理学電機工業製）。〕
19号	1枚	採泥作業 〔測量船の左舷側からスミス・マッキンタイヤ採泥器を投入しているところ。〕
20号	1枚	採泥作業 〔測量船の船尾からスミス・マッキンタイヤ採泥器を投入しているところ。〕
21号	1枚	採泥作業 〔富士山に見守られながら駿河湾で深海用スミス・マッキンタイヤ採泥器を揚収しているところ。〕
22号	1枚	ニスキン採水器揚収作業 〔測量船の甲板の高さまで巻き揚げた20L型のニスキン採水器をワイヤーから取り外しているところ。〕
23号	1枚	採泥作業 〔深海用スミス・マッキンタイヤ採泥器を投入しているところ。3本線のヘルメットの番号777が興味を引く。〕
24号	1枚	ニスキン採水器取付作業 〔ニスキン採水器をワイヤーに取り付けた後に上下の蓋が開いた状態になるようにセットする。3本線のヘルメットの番号777が興味を引く。〕
25号	1枚	採泥作業 〔揚収されたスミス・マッキンタイヤ採泥器に張られたラベルの日付から報告書の発行2ヶ月前となる1999年1月7日に行われた伊勢湾での採泥作業と推定。〕
26号	1枚	ニスキン採水器による採水作業 〔20L型のニスキン採水器の蓋が開いているので同採水器を投入しているところ。ニスキン採水器のワイヤー取付け、転倒温度計のセット及び採水器下部へのメッセンジャー取り付けが完了し、これからワイヤーを繰り出して海中に降下させていく。〕
27号	1枚	原子吸光光度計による重金属の測定 〔築地庁舎8Fの海洋汚染実験室（通称、大部屋）に設置された原子吸光光度計AA-6800（島津製作所製）の写真。〕
28～49号	なし	
50号	2枚	採泥作業・採水作業 本報告の口絵ページ参照